

新しい仲間が入団が続く！

3月18日

十八番の曲とともに新曲のレッスンに熱気！

□3月18日(金)18:00~20:30「昴」定例レッスンが行われました。奥村さんの体操と伊藤さんのヴォイストレーニングのあと、本並先生の指揮で「山賊のギャロップ」「わしらの朝は海からはじまる」を、伊藤副指揮者の指揮で「斎太郎節」を、引き続き本並先生の指揮で「底力のタンゴ」「川の流れのように」の5曲をレッスンしました。ピアノ伴奏は近藤静さん。参加者は全29名でした。



□練習の冒頭、6人目の新しい仲間が入団され、紹介されました。山本宏司(やまもとこうじ)さん。(T1)。第10回記念コンサートに感動され、昴で歌いたい一念で入団されました。素晴らしいテナーの声の持ち主です。大歓迎です！！

大阪うたごえ協議会総会発言

2016年3月6日(日)

川妻成美

男声合唱団昴の川妻です。見かけは古いんですけどまだ入団2年目の新人です。平均年齢70歳の昴ではこれでも若手になります。

私と昴との出会いは全くの偶然で、たまたまある集会で聞いた昴の合唱、そのたった1回の出会いがなければ今の私はありませんでした。上手な歌を聞くことはあっても、これほどまで心に迫る歌を聞いたのは初めてでした。

そしてその歌以上に、カラオケで演歌でも歌っているはずの「おっ



さん」が、社会を見つめ平和を願う歌を凜として堂々と歌っている、まさに「かっこいいおじさん」の姿に感動したのです。自分も「かっこいいおじさん」になりたい！その思いが合唱は初めてというためらいやいろんな障害を乗り越えました。

実は私の家は滋賀県で、自宅から大阪へ往復4時間あまり、わずかな年金から交通費と団費とで月2万円近い出費は正直つらいです。好きなコンビニ通いも減らしました。97歳の親二人の介護を妻と調整し、妻には「あほちゃう！」とあきれられながらも、わくわくしながらレッスンに通っています。

肝心の昴の活動ですが、メインはなんと言っても去る1月のいずみホールでの第10回記念コンサートでした。チケットが2ヶ月前に完売、キャンセル待ち多数といううれしい悲鳴の下、特別団員16名の参加も得て成功させることが出来ました。おかげでその後今日までに何と5名もの新入団員を迎えています。

今年特徴的なことのひとつは日中友好の演奏の場の広がりです。昨年7月に「日中不再戦のつどい」で「死んだ男の残したものは」をオープニング演奏、9月には華僑の方が集う難波宮跡での1万人規模の「中秋明月祭」で30分間の演奏、さらに1月の「新年関西中日音舞音楽会」での中国人女性40人との合同演奏は、NHK テレビでも報道されました。戦争法の強行で戦争をしない国としての信頼を失いつつある中、昴の活動が日中友好の力になれたことは大変うれしく、今後もうたごえの力で世界の人々との交流を進めていきたいと思いました。

もう一つは初めての中학생対象の演奏会です。近くの中学校からの要請で55名の生徒と保護者・先生を前に、たっぷり1時間の演奏をしました。生徒たちからは「うたごえの力強さに涙がこぼれそうになった。」「すべての歌にメッセージが込められていて感動した。」などの新鮮な感動が寄せられ、校長先生からも「平和への思いや原発なくせのメッセージが伝わってきました。全校生に聞かせたい。」とのお言葉をいただきました。未来を担う子どもたちにもうたごえを通して私たちの思いが伝わることに確信を持つことが出来、今後も機会を見つけて子どもたちに関わる演奏活動に踏み出すことが大切だと感じました。

入団していなければ田舎でのんびりご隠居さんをしているはずが、昴との出会いが67歳の私に新しい世界を開いてくれました。うたごえが人を励ましたり社会を動かす大きな力になることを初めて実感しましたし、年をとることは決して人生の黄昏でなく、むしろこれからが本当の豊かな人生の始まりだと感じています。これからはもうたごえを生きがいにいつまでも歌い続けていきたいと願っています。

大阪うたごえ協議会 2016 総会開催：2016年3月6日(日)

昴より代議員4名(立川・大畠・榎本・川妻)が参加しました！

(川妻さんが昴の代議員として発言されました。ご本人から発言要旨の投稿をご無理をお願いしていただきました。また立川さんから川妻さんの感動的な発言についての感想のメールが寄せられました。)

「今日の大うた総会は素晴らしい発言が相次ぎ大阪のうたごえ運動のすばらしさを再確認しました。中でもわが昴の川妻さんの発言は感動の涙でした。昴の演奏活動ということで発言をお願いしたのですが、自分が昴と出会ったことから話し始められて「こんなかっこいいおっちゃんたちのようになりたい」と昴に入った。往復4時間かけてレッスンに通っている」と語られたのです。もちろん会場から割れんばかりの拍手が起きました。なかまのすばらしさ、演奏活動の大切さ、何よりもうたごえ運動の奥深さを実感し、この運動を沢山の仲間を増やし、旺盛に演奏活動を展開しなければと決意を新たにしました。立川」

No552(2/3)



韓国民衆の心を伝える

サム・トゥッ・ソリ

海を超えて響くヒューマンサウンド



“サム・トゥッ・ソリ”とは日本語で“人生・意思・声”
これを“生・志・歌”と解して、心に響く熱いヒューマンサウンドを、ソン・ビョンフィを中心に集まった韓国の実力派アーティスト(イ・ヘジン、キム・ヨン、キム・ウニ、ムン・ジノ)が奏でる特別編成ユニットです。

始まりは18年前の「日本のうたごえ50周年記念祭典」で初来日した「韓国民衆音楽家協会」のミュージシャンの特別編成ユニット。その演奏は深い感動を呼び、民衆の想いを歌い上げる日韓音楽交流の契機となった。
その後二度の日本公演をはじめ、数次にわたって来日。4月のJAPAN TOURでは、実力派ミュージシャン5人を揃えた新たな編成で、その初心ともいえるべき韓国民衆文化運動の熱い思い、人間らしく生きる力を歌い上げる。
「同じ東アジアで暮らす市民こそ仲良くしよう！」
そんな思いが広がることを願って、参加ミュージシャンのソロも含め全9曲を収録。そして全国11か所ですツアー公演。

JAPAN TOUR お問い合わせ
機センタープロ TEL: (03) 3200-4030
4月2日～19日 全国11か所13公演

2日 東京・立川 8日 名古屋 12日 大阪 17日 姫路
3日 松代(長野) 9日 岡山 14日 静岡 19日 東京・江東
5日 神奈川 ※ 10日 広島 15日 埼玉 ※ ※ 2回公演

CD「並んで歩かなくても」

4月の JAPAN TOUR に
先駆け発売!!

定価 **2,000円**(税込)

株式会社 音楽センター

〒169-0072 東京都新宿区大久保2-16-36

TEL:03-3200-0101 / FAX:03-3200-0104

収録曲

- | | |
|----------------|--------------|
| 1. 並んで歩かなくても-2 | 6. 光州よ無等山よ |
| 2. 再び光化門の前で | 7. 人生に感謝 |
| 3. あなたのそばに立って | 8. 決して忘れないで |
| 4. チンダルレ | 9. 並んで歩かなくても |
| 5. この山河に | |



春を告げる紫金魚

大阪公演：4月12日(火) エルおおさか 18：30 開演

「並んで歩かなくても」「人間の歌」合同演奏

レッスン日：3月20日(日)14：00～グリーン会館

3月25日(金)19：00～おむかホール

「同じものを目指し歩く仲間になる」(“サム・トゥッ・ソリ JAPAN TOUR”事務局センタープロ：浅井真理さんのレポートより「うたごえ新聞」 2016年3月14日号)

「・・・公演のテーマ曲「並んで歩かなくても」は各地の歓迎演奏曲。今ツアーに向けてリリースした CD に抄録の「並んで歩かなくても2」は 2 番の歌詞が少し変えられている。「心の銃を下ろそうよ。その手で花の種をまこう」。戦争する国へ大きく舵が切られているこの時、私たちの手は銃でなく、未来のために使おう。「心の銃」・・・ヘイトスピーチなどにみられる言葉で心を打ち抜くようなことはやめよう、と。

韓国にも多くの闘いがあり、そして悲しい事故があった。そのたびに歌がつくれ、歌われ広がっている。来日メンバーもそれぞれの現場で、怒りを、無念を、祈りを歌っている。その活動の根っこから共に創り出す国を超えた人間同士の熱い連帯の輪の舞台。**その時私たちは近くて遠い者同士ではなく、並んで歩かなくても同じものを目指して歩く仲間になっている・・・。その瞬間に多くの人に立ち会ってもらいたい。」**